

79. 薬事章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 薬の起源や歴史(生薬、抽出成分、化合物などの創薬の歴史)について調べ報告すること。	報告書の提出		
(2) 次の薬の剤形について、それぞれの特徴(用途や使用方法など)が説明できること。 ア) 錠剤、イ) カプセル剤、ウ) 散剤、エ) 液剤、オ) トロージ剤、カ) 塗布薬、キ) 貼付剤、ク) 点眼剤、ケ) 点鼻剤、コ) 点耳剤、サ) 吸入剤、シ) 坐剤、ス) 湿布剤	口述または記述		
(3) 次の用語について例をあげて説明できること。 ア 主作用、副作用 イ 相互作用(薬と薬、薬と飲食物) ウ 薬物アレルギー エ 用法、用量	口述または記述		
(4) 次の用語について説明できること。 ア OTC医薬品 イ 要指導医薬品 ウ 一般用医薬品(第一、二、三類) エ 医薬部外品	口述または記述		
(5) 薬物乱用防止について研究し、報告すること。	報告書の提出		
(6) 症状にあった薬を選び、その理由を説明できること。	口述または記述		
(7) 医療用医薬品が市場に出るまで(治療に使われるまで)の過程が説明できること。	口述または記述		
(8) 過去に起きた薬害について1例をあげて説明できること。	報告書の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

_____年 _____月 _____日 技能章考查員 _____ 印

80. 防災章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 地震発生のメカニズムや日本で地震が多く発生する理由について説明できること。	口述または記述		
(2) 自宅や外出時における地震発生の際に適切な対応行動が説明できること。	口述または記述		
(3) 集中豪雨、ゲリラ豪雨(短時間集中豪雨)、土砂災害などの風水害発生時の初動について説明し、行動できること。	口述の後に実演		
(4) 自宅や学校、団本部などの減災対策が説明でき、準備すること。	口述の後に実演		
(5) 避難所運営の意義、必要性を知り、開設のプロセスを説明できること。	口述または記述		
(6) 自分が住む市町村の防災に関する計画を調べ、説明できること。	報告書の提出		
(7) 自治会、町会などの地域、行政が主催する防災訓練、避難訓練や初期消火訓練などに参加し、感想などをまとめること。	実演の後に報告書の提出		
(8) 自宅および活動場所から近隣の避難場所を探し、ルートを示すこと。	記録の提出		
(9) 身の周りの物を使って防災グッズを5点以上作り、提出すること。	作品の提出		
(10) 隊もしくは団で防災に関わる訓練プログラムを企画・計画し、隊長の承認のもとで実施すること。	計の後に実演		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

_____年 _____月 _____日 技能章考查員 _____ 印

81. 情報処理章 1/2

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 以下について説明できること。 ア オペレーティングシステム イ コンパイラーとインタプリターの違い。 ウ プログラミング言語を5種類あげ、特徴と用途。 エ クライアント・サーバーモデル。	口述または記述		
(2) 任意のプログラム言語で、以下のプログラムを作成し、実際に実行させる。 ア 整数Nを入力し、1行目 ^{***} 、2行目 ^{***} 、3行目 ^{***} …のように、N行分、行番号の数だけの [*] を出力する。 イ 名前がランダムに出力される「くじびき」を作り、何度か実行した後、誰が何回選ばれたか集計を表示する。	実演		
(3) 団行事(体験入隊会やバザーなど)のポスターやチラシを作成できること(文字だけでなく、イラストや写真などの図を含めること)。	実演および作品の提出		
(4) プレゼンテーションソフトを利用し、団や隊の活動を発表する。	発表		
(5) 表計算ソフトなどを利用し、出席状況・進級状況・会計などを、継続管理できる方法でまとめる。	実演		

つづく

81. 情報処理章 2/2

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(6) スカウト活動を紹介する3分以上の動画を作成できること。	実演		
(7) コンピュータやインターネットを活用した便利なサービス(情報検索・通販・各種予約・地図情報など)のうち1つについて、どのような仕組みで実現されているか調べ報告する。	報告書の提出		
(8) コンピュータやスマートフォンなどを活用した新しいサービスを考案し、実際にシステムを構築するか、構築するのに必要なハードウェア・ソフトウェアについてまとめる。	計画書の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

_____年 _____月 _____日 技能章考查員 _____ 印